

新型コロナウイルスワクチン Q&A

当院では、コミナティ、ヌバキソビッド、コスタイベ、エムネクスパイクの4種類の新型コロナウイルスワクチンを取り扱っています。よくあるご質問をまとめました。

Q1. 4種類のワクチンは何が違うのですか？

大きな違いはワクチンの仕組みです。コミナティは mRNA ワクチンで、国内外の接種実績とデータが豊富です。ヌバキソビッドは組換えタンパクワクチンで、4種類の中で唯一 mRNA を使用しません。コスタイベは自己増幅型 mRNA ワクチン（レプリコンワクチン）です。エムネクスパイクはモデルナ社の新しい mRNA ワクチンです。

Q2. どのワクチンを選べばいいですか？

一概に「これが一番良い」とは言えません。接種実績やデータの多さを重視する場合はコミナティ、mRNA ワクチン以外を希望する場合はヌバキソビッド、抗体の持続性を重視する場合はコスタイベ、新しいモデルナ社製 mRNA ワクチンを希望する場合はエムネクスパイクが選択の参考になります。年齢、接種歴、基礎疾患、過去の副反応などによっても選択肢は変わります。

Q3. コミナティのメリット・デメリットは？

メリット：国内外で非常に多く使用され、有効性・安全性・副反応に関するデータが豊富です。幅広い年齢に対応した製剤があります。

注意点：発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛などが起こることがあります。まれに心筋炎・心膜炎などが報告されています。

Q4. ヌバキソビッドのメリット・デメリットは？

メリット：4種類の中で唯一 mRNA を使用しない組換えタンパクワクチンで、mRNA ワクチンを希望しない方の選択肢になります。

注意点：接種部位痛、倦怠感、頭痛、筋肉痛などは起こり得ます。コミナティと比べ国内での接種実績は少なめです。

Q5. コスタイベのメリット・デメリットは？

メリット：自己増幅型 mRNA という新しい技術を使用し、少量の mRNA で免疫反応を誘導できるよう設計されています。従来型 mRNA ワクチンとの比較試験で、中和抗体が比較的長く維持されることを示したデータがあります。

注意点：従来型 mRNA ワクチンと比べ長期間の使用実績は少なく、長期的安全性について今後もデータが蓄積されます。

Q6. エムネクスパイクのメリット・デメリットは？

メリット：モデルナ社が開発した新しい mRNA ワクチンです。

注意点：新しい製品のため日本国内での接種実績はまだ多くありません。接種部位痛、倦怠感、頭痛、筋肉痛、発熱などが起こることがあります。

Q7. 副反応が少ないワクチンはどれですか？

副反応には個人差が大きく、「このワクチンなら副反応が出ない」とは言えません。いずれも接種部位痛、倦怠感、頭痛、筋肉痛・関節痛、発熱・悪寒などがみられることがあります。多くは接種後数日以内に改善します。

Q8. mRNA ワクチンとは何ですか？

スパイクタンパクを作るための設計図となる mRNA を体内に入れ、細胞に一時的にスパイクタンパクを作らせることで免疫をつけるワクチンです。mRNA そのものが新型コロナウイルスになることはありません。

Q9. 組換えタンパクワクチンとは何ですか？

ヌバキソビッドで 사용되는方式です。あらかじめ製造したスパイクタンパクを抗原として接種して免疫をつけます。免疫反応を高めるアジュバントも使用されています。

Q10. レプリコンワクチンとは何ですか？

コストイベで使用する自己増幅型 mRNA ワクチンです。mRNA が細胞内で一時的に自己増幅する仕組みを持ち、少ない量でも免疫反応を誘導できるよう設計されています。感染性のある新型コロナウイルスが体内で増えるワクチンではありません。

Q11. レプリコンワクチンは周囲の人にうつるのですか？

現在まで、接種した人から周囲の人へワクチン成分が伝播して健康影響を起こすという科学的根拠は確認されていません。接種した方との会話や食事、同じ部屋で過ごすことでワクチンが他の方に感染するものではありません。

Q12. 接種すれば新型コロナに感染しなくなりますか？

感染を完全に防ぐものではなく、接種後でも感染することはあります。一方、発症や重症化のリスクを低下させる効果が期待されています。

Q13. 抗体はどれくらい持続しますか？

「〇か月間は抗体が残る」と一律には決められません。抗体価は接種後に上昇し、その後低下します。年齢、接種歴、感染歴、基礎疾患、ワクチン、変異株などでも異なります。また、免疫には抗体以外にメモリーB細胞やT細胞も関係します。

Q14. 以前と違う種類のワクチンを選んでも大丈夫ですか？

必ずしも同じ製品である必要はありません。ただし、年齢や接種歴によって接種可能な製品や方法が異なる場合があります。

Q15. 以前ワクチンで副反応が強く出ました。別の種類を選べますか？

選択肢になる場合があります。例えば mRNA ワクチン以外としてヌバキソビッドを希望することも可能です。ただし、変更すれば必ず副反応が軽くなるとは限りません。重いアレルギー反応歴がある方は必ずお申し出ください。

Q16. 新型コロナに感染したことがあります。それでも接種できますか？

過去に感染した方でも接種可能です。ただし、現在感染中の方や発熱・風邪症状がある方は接種できません。感染後の接種時期に迷う場合はご相談ください。

Q17. インフルエンザワクチンと一緒に接種できますか？

同時接種が可能です。別の日に接種する場合も、両者の接種間隔をあける必要はありません。

Q18. 接種後に気をつける症状はありますか？

接種部位痛や軽い発熱、倦怠感などは比較的良好にみられます。息苦しさ、顔や喉の腫れ、強い胸痛、動悸、息切れ、非常に強い症状や長く続く症状がある場合は医療機関へご相談ください。

Q19. 定期接種と自費接種では使用するワクチンに違いがありますか？

料金や制度上の扱いは異なりますが、「定期接種用」「自費接種用」という別のワクチンがあるわけではありません。当院で取り扱うワクチンから年齢や条件に応じて接種します。

Q20. どのワクチンにするか迷っています。相談できますか？

もちろんご相談いただけます。接種歴、年齢、基礎疾患、過去の副反応などを確認し、それぞれの特徴をご説明したうえで、ご本人の希望に合わせて選択していただきます。